

囲いやま森の会 観察記録

2008.9.9 野口 功

日 時： 2008.8.19 (火) 10~12時 天気： 晴

記録・写真： 山田幸子

「蟬時雨」という言葉を耳にする季節になりました。今日の囲いやまは、まさに「蟬時雨」日和でした。この言葉で何を連想しますか？ 私は夏休み。セミの声を聞くと、時間を忘れて遊び回った夏の日の風景や、宿題が終わらず焦っていた夏の終わりの情景が、懐かしく浮かんできます。ちなみに「蟬時雨」とは、多くのセミが一斉に鳴きたてる声を、時雨の降る音に見立てた夏の季語だそうです。藤沢周平の時代小説や五木ひろしの曲にも、同名の作品があります。藤沢周平の小説は、テレビ化されたので、ご存じの方も多いかと思います。

今日はミンミンゼミ(ミンミン)・アブラゼミ(ジー)・ツクツクホウシ(オーシーツクツク)の鳴き声が聞こえていました。鳴き声は、オスの腹部からの音です。ツクツクホウシの声を聞くと、夏の終わりを感じますが、まだまだ暑さは続きます。無理をせずマイペースで、夏を楽しくお過ごしください。

- 1)森の入口を入った右にあるアケビに、青々とした実が6個ほどなっていました。今年も熟した実を味わうことができそうですね。
- 2)サトキマダラヒカゲが観察できました。このチョウは、クヌギなどの樹液によくいます。一見地味ですが、よくみると裏面が迷路のような模様をしていて、味わいのあるチョウです。翅を開かないで止まっています。
- 3)クロアゲハも何度も観察できました。翅が黒いので、夏は涼しさをもとめて、木陰にいることが多いようです。そういえば今日は森の中を3頭で乱舞していました。親子?兄弟?それとも3角関係?
- 4)エサキモンキツノカメムシが、広場で観察できました。背中に何ともキュートな模様があります。その模様から、ハートカメムシと呼ぶ人も多いようです。親が卵や子を外敵から守ることが知られています。草木の汁を吸います。
- 5)ナラタケモドキがたくさんありました。ナラタケと同様、食べる事ができます。つばが無いので、ナラタケと区別できます。
- 6)クサグモの仲間を観察しました。立派な棚網は張ってありますが、本人は雲隠れしていて、姿を見つけることはできませんでした。

開花植物

草本 ハキダメギク・カラスウリ・イノコズチ・イヌガラシ・ノゲシ・ツユクサ・ドクダミ・ヒメジョオン・ヒルガオ・ククイモ・メマツヨイグサ・ヤブガラシ・ミズヒキ・イヌビエ・オオバコ・ソクズ・ミチヤナギ・ヨウシュヤマゴボウ・エノコログサ・メヒシバなど

鳥 ヒヨドリ・シジュウカラ・ハシブトガラスなど

昆虫 ミンミンゼミ・アブラゼミ・ツクツクホウシ・エサキモンキツノカメムシ・オオヒラタシデムシ・ゾウムシの仲間・サシガメの仲間・アオバハゴロモ・スケバハゴロモ・ウスバカゲロウ・ミスジマイマイ・クロアゲハ・スジグロシロチョウ・キタテハ・シジミチョウの仲間・スズメバチ・ザトウムシなど

クモ オオシロカネグモ・ジョロウグモ・オナガグモ・コガネグモ・ゴミグモ・クサグモの仲間

キノコ カワラタケ・キクラゲ・ツヤウチワタケ・ナラタケモドキ・ベッコウタケ・ヒトヨタケの仲間

園いよまの森

2008.8.19(火) 晴

山田幸子

処暑：暑さが峠を越えて後退し始めるころ(8月23日頃)。朝夕は涼しい風が吹き始め、気持ちのよい時期になります。夕暮れに鳴くカナカナは物悲しい声ですが、間近で聞くとかなり大きい。



セミの抜け殻



アブラゼミに付いた菌



エサキモンキバツカメムシ



オヒラタシテムシ交尾中



カミキリムシの仲間



クモが雲隠れ



サシガメの仲間



アケビの実



キクイモ



サトキマダラヒカゲ



スケバハゴロモ



ナラタケモドキ



キクラゲ



ベッコウタケ



ヒトヨタケの仲間